

分科会評価報告書（令和3年度決算）

（総務生活分科会 No.1）

(所管課, 事業コード)	(政策秘書課, 5505)	
事業名	ホームタウン推進事業	※P. 567

評価	B	A 十分評価できる B やや評価できる C あまり評価できない D 全く評価できない
----	---	---

【評価に至った理由】

ホームタウン推進事業は、鹿島アントラーズ FC を活用し、市の積極的な PR 事業を展開するとともに、鹿行5市・茨城県・鹿島アントラーズ FC で構成するアントラーズホームタウン協議会をもって、地域全体の賑わい創出を図ることを目的とした事業である。

令和3年度には、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施し、鹿島アントラーズ FC のグラウンド整備を支援した。このグラウンドについては、鹿島アントラーズ FC アカデミーのみならず、鹿行地域内の子どもたちが存分に活用しているということであり、本事業の必要性を示している。また、市は当該土地の貸付により賃借料を得ているため、経済合理性も考慮した取組となっている。

ただし、クラウドファンディングでは目標額に達していないこと、また、アントラーズホームタウン協議会のこれまでの取組が、本事業の目的であるスタジアム観戦者を増やし、地域を盛り上げるには至っていないことから、改善点も多く、「やや評価できる」とする。

今後の方向性	2	1 拡充 2 継続 3 改善 4 縮小 5 休止 6 廃止
--------	---	--

【今後の取り組み方と提言】

クラウドファンディング型ふるさと納税然り、本事業でこれまで実施してきたイベントなどは、鹿行地域外との交流人口に目を向けた取組が多かった。

今後は、ホームタウン内に目を向け、まち全体でアントラーズを応援し、そのことによって、スタジアムを中心に、市、地域が盛り上がるように取り組んでいくべきである。

小中学校の全校応援や選手との交流会、キャリアデザイン教室など教育分野での連携事業のように、鹿行地域内での盛り上がり期待できる取組を継続していくとともに、街なかでのフラッグ掲出など、市民・クラブ・行政が一体となれるような取組の工夫を期待しつつ、今後の方向性を「継続」とする。